

越川 慶一・牧田 俊之
 首藤 孝治・松井 雅宏

改革フォーラム

首藤 孝治 議員

☆一般質問にて「今後の公共施設延べ床面積について」質疑しました。現在、市内公共施設の延べ床面積は市民一人当たりで換算すると6㎡と全国的にも非常に大きいのが現状で、苫小牧市公共施設等総合管理計画では平成38年度までに延べ床総面積を2%縮減する計画が示されておりますが、これは人口減少に合わせたもので、この計画では将来財政が逼迫する可能性があることを指摘し、市からはその時点の財政状況を見ながら柔軟に計画し対応して行くと答弁がありました。「仮称市民ホール事業と総合体育館の複合化」について質疑し、築45年耐震判定「B」の総合体育館と仮称市民ホール事業の大ホールは兼用が可能であり、今後の市の財政状況や中心市街地の賑わいの創出などを考慮した場合に複合化すべきと指摘し、市長からは駐車場などの問題はあがるが今後検討すると答弁がありました。



越川 慶一 議員

☆【国道36号（三光町から柳町の区間）の渋滞解消対策を！】国道36号は、土・日などに交通渋滞が発生しているため、早急に渋滞解消対策を講ずるべきと指摘。市は「現段階で車線数を増やすことは見込めないが、土・日など一時的な交通渋滞が発生していると認識しており、渋滞解消に向け、道路交通の安全確保と円滑化の観点から、信号機の時間調整なども含め関係機関と連携し検討する」と答弁。「ドライブレコーダー購入費用助成制度の創設を！」ドライブレコーダーは、事故防止や運転意識の向上に加え、動く防犯カメラとして犯罪抑止の効果も期待されており、購入費用の助成制度創設を提案。市は「防犯活動を担う町内会などへの支援について検討しており、青色回転灯装着車両へのドライブレコーダー設置助成は、その一助に繋がり地域防犯活動への助成という観点で検討する」と答弁。



牧田 俊之 議員

☆一般質問にて観光振興ビジョン施策「フィルムコミッション誘致」について苫小牧ゆかりの漫画「僕だけがいない街」（原作三部けい）を観光振興に活かすため立ち上がった市民有志との関わりについて確認しました。苫小牧西部の観光スポット「樽前ガロー」の現状の認識と今後の整備予定について質問しました。「地質・地形・植生など繊細なバランスで成り立ち、あるがままの姿で考えている」と答弁がありました。「自主防災組織の活動実態と消防防災訓練センターの今後の活用」について質問しました。昨年は約半数の組織で防災訓練や研修視察などが行われ、避難訓練・炊き出し訓練が実施された。訓練センターとの連携、活用に関しては、自主防災連組織連合会が11月に研修会を開催予定。今後は危機管理室と連携を回り消防防災訓練センターを有効に活用していくと答弁がありました。



松井 雅宏 副議長

☆文教経済委員会において、苫小牧地方を中心とする道央地区のものづくり産業を支援する目的で設立されている「公益財団法人道央産業振興財団」の事業が報告され、平成28年に国への約5億円の償還金が生じたことによる基金の目減りの影響と財団運営の肝とも言える地元企業の技術者OBに担っていただいている技術コーディネーター、エリアマネージャーの継続性と人材確保について取り上げ、苫小牧市を含む関係団体で構成している「道央地域新事業活動推進協議会」において協議していくとの答弁がありました。また、そのほかの所管事項で30年度に策定した中小企業振興計画に関連し、経済産業省の認定を受けた市内の1丁導入支援業者との連携のもと、地元の中小企業・小規模事業者を対象とした1丁導入補助金の活用支援の取り組みを求め、関係者と協議を進めるむねの答弁がありました。

